

1. 日 時 平成29年8月23日(水) 14:10~14:45

2. 開催場所 市役所本庁舎2階 第4委員会室

3. 出席委員名(敬称略)

役職	氏名	出欠
会 長 (東北大学大学院 教授)	永富 良一	○
副会長 (仙台大学 副学長)	仲野 隆士	○
委 員 (仙台市中学校体育連盟 会長)	伊藤 譲治	×
委 員 (仙台市スポーツ推進委員協議会 理事長)	大林 一信	○
委 員 (東北電力株式会社 広報・地域交流部副部長)	加藤 靖一	○
委 員 (宮城教育大学 准教授)	神谷 拓	×
委 員 (仙台市レクリエーション協会 理事長)	小林 彰	○
委 員 (仙台市体育協会 副理事長)	齋藤 明	○
委 員 (仙台市小学校教育研究会体育研究部会 常任委員)	佐藤 裕子	×
委 員 (仙台市議会議員)	鈴木 勇治	○
委 員 (東北福祉大学 特任准教授)	鈴木 玲子	○
委 員 (東北学院大学 教授)	高橋 信二	×
委 員 (東北生活文化大学 教授)	土井 豊	○
委 員 (仙台市障害者スポーツ協会 理事)	中嶋 嘉津子	○
委 員 (仙台市学区民体育振興会連合会 副会長)	堀江 新一郎	○
委 員 (NPO 法人キューオーエル 理事長)	横山 英子	○
委 員 (仙台市スポーツ少年団 本部長)	吉田 尚	○

4. 説明に出席した者の職・氏名

文化スポーツ部長	細井 崇久
スポーツ振興課長	及川 徹
スポーツ振興課企画係長	齊藤 淳志
スポーツ振興課主任	朝香 あかね
スポーツ振興課主事	千葉 崇

## 5. 会議の経過

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 報告事項及び議事の内容

進行役：永富会長

議事録署名人の指名：中嶋委員

**永富会長**

それでは報告事項は事務局より報告を願います。

**事務局**

それでは事務局より2点ご報告させていただきます。

まず1点目、平成29年度主要事業についてです。

資料4をご覧ください。平成29年度の主要事業として、仙台市の主催事業と共催事業をまとめております。主なものにつきましてご説明いたします。

「A. 国際・全国スポーツイベント」ではまず1番ですが、本年度も、5月14日に「第27回仙台国際ハーフマラソン大会「杜の都ハーフ」」が開催され、2キロの部、5キロの部、ハーフマラソン車いすの部、ハーフマラソン一般の部、ハーフマラソン日本陸連登録競技者の部の5つのカテゴリーで行われました。9年ぶりに雨というあいにくの天気ではありましたが、総勢12,991名のランナーの皆様にご参加を頂きました。

次に5番ですが、「平成29年度全国高等学校総合体育大会」いわゆるインターハイは、昨年のお山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、和歌山県で開催された中国総体から、今年はお城県、福島県、山形県で7月28日から8月20日にかけて開催され、仙台市ではサッカー、なぎなた、剣道および弓道がそれぞれ泉総合運動場泉グラウンド、新田東総合運動場、仙台市体育館にて行われました。

「B. 市民参加型イベント」としましてはまず1番ですが、本年度も9月23日から24日の2日間にかけて「仙台泉ヶ岳トレイルラン2017」が、3キロ、12キロペア、12キロ、17キロ、33キロの5つのカテゴリーで開催予定です。他、トレイルランツアー&クリニックとしてビギナー向けのクリニックも企画されております。

こちらもお、昨年度に引き続き、3番の「仙台リレーマラソン」が、11月11日から12日の2日間にかけて42.195キロと10キロに分かれて開催されます。性別や年齢などの構成チームの条件によってカテゴリーがわか

て競われます。

「C. 地域スポーツ大会」としましてはまずは1番ですが、本年度も6月25日に第18回仙台市民レクリエーションまつりが開催され、家族で楽しめるレクリエーションとして、ダンスやビーチサンダル飛ばし、トランポリンなどが行われました。

次に2、3、5、6、8番ですが、例年通り、仙台市学区民体育振興会連合会の全市大会として、各区代表チームが集まり、年間を通して、5種目競技の大会が随時開催されます。

7月9日に家庭バレーボール大会、8月20日にソフトボール大会が開催されました。

今後は、9月10日にグラウンド・ゴルフ、11月12日にバドミントン、12月24日に卓球大会がそれぞれ開催予定です。

「D. その他」として、1番ですが、スポーツコミッションの本年度の主要事業をまとめております。

スポーツコミッションはスポーツイベントの誘致等による交流人口の拡大や地域の活性化を図ることを中心に活動しており、仙台市への大会誘致や大会開催への様々な支援を行っております。

大会運営への助成支援としましては、「(1) 開催補助金」にあるとおり、8件、合計262万円の交付を見込んでおります。

会場の優先予約やボランティア紹介などの開催支援を予定している大会は「(2) 誘致スポーツイベントへの開催支援」にあるとおり、14件を予定しており、このうち、6月にはU16インターナショナルドリームカップ2017、日米対抗ソフトボール2017、ジャパンウォーク in SENDAI が、7月にはFIVBワールドグランプリ2017女子仙台大会が、8月には平成29年度大相撲夏巡業が開催され、多くの方に足をお運びいただきました。

また、スポーツコミッションせんだいが主催して、例年、中高生や指導者向けのセミナーなどを開催しております。本年も引き続き開催を予定しております。

あわせて、本年におきましては、スポーツによる街の活性化に関する事業として、4月に仙台国際センターにてフィギュアスケートモニュメント設置記念イベントを開催いたしました。メダリストである荒川静香さん、羽生結弦選手のサイン入りモニュメントが設置され、発祥の地 五色沼の説

明や、お二方の手形入りでその偉業が紹介されております。

そしてその他の2番、仙台市表彰に関してですが、平成29年においてアマチュアスポーツにおいて優秀な成績をおさめた個人・団体などに対して表彰を行う仙台市スポーツ賞表彰式ですが、平成30年2月上旬に開催予定です。正確なお日にちが決まりましたら、改めてご案内いたします。

次に報告事項2つ目ということで「平成29年度スポーツ関係団体への補助金交付について」ということで、こちらは資料5をご覧くださいませでしょうか。

平成29年度のスポーツ関係団体への補助金の交付をまとめております。仙台市のスポーツ関連5団体である、仙台市学区民体育振興会連合会、仙台市レクリエーション協会、仙台市体育協会、仙台市中学校体育連盟、仙台市スポーツ推進委員協議会への交付予定額となり、昨年度と同程度を予定しております。

以上で報告を終わります。

永富会長

ありがとうございました。ただいまの報告について、ご質問、ご意見等がございますでしょうか。

永富会長

さきほどスポーツコミッションの開催補助金がありましたけれど、これは交付件数8件となっておりますが、申請件数自体も8件のみでしたのでしょうか？

事務局

そうです。申請があり、条件があって、交付をさせて頂いております。

永富会長

まだ余地もあるということでしょうか？

事務局

補助金の申請の条件というものが決まっております、それにあわせて額も決まっております。

永富会長

その他よろしいでしょうか？では、なければ次に入らせていただきます。次が本日のメインイベントになりますが、「仙台市スポーツ賞功労賞の運用見直し」についてです。まず事務局より資料の説明を願います。

事務局

それでは事務局より「仙台市スポーツ賞 功労賞の運用見直しについて」説明いたします。

資料6～11\_2をご用意下さい。

はじめに、仙台市スポーツ賞に関して、簡単にご説明いたします。  
仙台市スポーツ賞は、アマチュアスポーツにおいて素晴らしい活躍を遂げた選手を讃えるため、平成4年に制定されました。その後、平成10年からは特に顕著な活躍をされた選手に対する「スポーツ大賞」が新設され、また、平成18年からは、「スポーツ栄光賞、優秀賞、奨励賞」に細分化し、「スポーツ功労賞」が新設され、「大賞」「栄光賞」「優秀賞」「奨励賞」「功労賞」の5種類となり、現在の形になっております。昨年までの受賞者数については、別紙6「受賞者数の推移」をご覧ください。

また、各賞の基準は資料7「仙台市スポーツ賞事務取扱要綱抜粋」を、平成27年、平成28年の表彰結果は資料8「表彰事例」をご参照ください。資料7、8にございますように、大賞から奨励賞までは、各種大会等におきまして、優れた成績をあげられた個人・団体を表彰してございます。

一方「功労賞」は、資料9「仙台市スポーツ賞運用細則」にありますように、制度的には5年以上という条件のもと、無償で継続的支援活動をされている方の表彰を想定しておりますが、実際には、資料10「仙台市スポーツ功労賞【表彰歴】」にもありますように、設立当初はその趣旨に沿った運用となっておりましたが、近年では国際大会で監督や審判として活躍されるなど、特別な功績をあげた方のみが受賞者となっており、そのような事案が無い場合には「該当なし」としております。

このような状況に対して、H28年度のスポーツ推進審議会において、吉田委員より、長きにわたって地域のスポーツ振興にご尽力いただいた方を功労賞の受賞者とすべきではないかとのご意見をいただきました。

このご意見を踏まえ、事務局としては、現行の5年以上をより長期の年数へ改正することで、特定の役職等を求めず、地域のスポーツ振興に無償で継続的に関わった方を表彰できるように運用を見直したいと考えております。

その際の基準となる年数の案につきましては、本市において継続的取組を表彰する既存の制度である「宮城県市長会表彰」や「仙台市技能功労者表彰」を参考に、「30年」をひとつの目安といたしたいと考えております。

この「功労賞」の運用の見直しを進めることに関してご承認いただきましたら、受賞候補者をご推薦いただく協会等の関係団体の皆様からのご意見を頂き、それを踏まえて検討を行い、年末に予定しております次回審議会においてお諮りしたいと思います。なお本見直しの適用につき

ましては、候補者を推薦するスポーツ関係団体への周知期間等も考慮し、次年度より新たな枠組みにおいて「仙台市スポーツ賞」の表彰を行うことを想定しております。

以上、事務局からの説明を終わります。

永富会長

はい、ありがとうございます。ただいまご説明を頂きましたけれども、昨年度のこの審議会において吉田委員より功労賞の見直しについてご意見をいただきましたので、まずはご意見等いただければと存じますが、いかがでしょうか。

吉田委員

はい、私としては30年という期間は非常に良い提案だと思っておりますが、今のスポーツ少年団では指導歴で45年という方も多く、40年以上の方もかなりおられて、30年だとかなりの人数の方が功労賞の対象になる気がします。そのため、35年位にするのか、それ以上にした方がいいのかも含めて、今後検討して頂ければと思いますが、この功労賞というのはそういう方たちにあげたいので、是非ご検討いただければと思います。

永富会長

ただいまのような趣旨で見直しということになったわけですが、ただ今、吉田委員よりご発言があったように、今40年以上の方々でもかなりの方がいらっしゃるということですが、どの程度の数になるものでしょうか。

吉田委員

30年以上全員にあげるとなるとかなりの数になる気がします。その場合には、大体10人なら10人と決めて、年齢の高い人から授与していくなど、何か決めないとかなりの人数になるという気がしています。

堀江委員

年数があればいいのかということもありますが、私ども学区民体育振興会連合会では内部表彰規程があり、体育協会さんにも独自に表彰規程があり、表彰を受けた場合は除外という形にしておりますが、スポーツ少年団さんの場合にはそういう除外などはないのでしょうか。

吉田委員

ないです。

永富会長

学区民体育振興会さん、スポーツ少年団さん、各体育協会さんなどはそれぞれ独自の表彰規程がありますよね？

吉田委員

スポーツ少年団の場合には、体育協会の中で表彰していただくというの

はありますけれども、各枠の中で1名という決まりがありまして、昨年度ですと、野球協会の方で42年位の方が一人だけ表彰されているという状況です。

**鈴木(勇)委員** ちなみに何人くらいいるのでしょうか。今からだと数えきれない？

**吉田委員** この前調査したところでは、宮城県の中で90何歳という方がまだ指導者として剣道をされているとか、師範としておられるとか、そういう方もおりますので、いろんな競技で頑張っておられる方が結構おられるのかなというところでは。

**堀江委員** 普通に考えると、たとえば功労賞は、先ほど1年に10名程度という話がありましたけれども、普通に考えると5名程度、そうすると何年かかるのか、ということもあります。

**吉田委員** 5名でもいいのですが、あまりにもいっぱいいるの中からその人を選ぶということを難しくならないようにした方がいいかなという気がしております。

30年だとかなりの人数がいるかと思います。  
大体平均すると、65歳くらいで大体30年位、70歳で35年位かと思います。

**堀江委員** スポーツ少年団でも、ご年齢であっても直接指導されている方と、代表などには就任されていても実際の指導員については、若い方に任せているなどいろいろな場合が想定されるけれども、そういうのをどういうふうに考えるのかということもあります。

**永富会長** 推薦頂いた時に、そういう情報が入っている場合と入っていない場合がありますが、その時には悩ましいです。そういう情報もあわせていただく様にするとよいと思います。

**吉田委員** スポーツ少年団だけでなく、各種競技団体にもご尽力されている方も多くいらっしゃると思いますので、やはり検討する価値はあるのかなという気がしております。

**堀江委員** 競技団体では競技団体で表彰する規定があります。

**吉田委員** 競技団体で単独で規定を持っているということでしょうか？

堀江委員

それは競技団体でまた違ってくるだろうけれども。

永富会長

競技団体というご発言がありましたけれども、体協の立場からはいかがでしょう？

齋藤委員

今年の体育協会では、毎年、競技団体、ならびに区の方のいろいろ携わった方に、仙台市体育協会では条件として10年やっていれば功労賞を出しています。

仙台市の場合では、たくさんいるのであれば、35年か40年位にして、沢山いけば5年5人ずつ早くやって人数を減らしていくのもいいのかなど。

永富会長

レクリエーション協会の方でも地域でいろいろ活躍されている方もいらっしゃるかと思うのですが、いかがでしょうか？

小林委員

レクリエーション協会では、仙台市レクリエーション協会では、10年に1回の区切りで表彰しております。あと2年後あたりにレクリエーション協会創立の30周年を迎えますので、その時に表彰を行うとなっておりますが、まだ今のところ協議はしていません。

永富会長

スポーツ推進委員では？

大林委員

スポーツ推進委員では2年1期で、5期終わって宮城県の推進委員会から表彰、後、仙台市委員表彰は10年過ぎて11年目になったときに委員表彰、その後、東北の推進委員の表彰、全国の表彰、それで大体です。仙台市では毎年全国表彰が1人ずつ、東北は6県で毎年16人まで。県の人数で割り振られるのですが、宮城県の場合には1,000人を超えているので、16名出てます。

永富会長

仙台市障害者スポーツ協会ではいかがでしょう。

中嶋委員

仙台市障害者スポーツ協会では、スポーツ指導者協議会で障害者スポーツ指導員の方々を過去に表彰されていると思います。

永富会長

事務局では各団体の表彰規程というものは参考にされているのですよね。

事務局

ええ。参考にもしておりますし、先ほど担当から申しあげましたように、これから各団体様にも実情などをお話し伺わせていただきながら、第2回に向けましてですね、このような形でという案を整理してまいりたい

と考えておりました。

鈴木(勇)委員 その案が出てくるということで。

事務局 はい。

鈴木(勇)委員 では、その案を持って考えるということで。

事務局 まず各団体できちんと年数を把握してデータベース化されているか、という問題があるかと思います。  
対象となる団体で、スポ少さんは何となく雰囲気はわかりますが、他の団体で 30 年だったらほとんどいないなどあったらどうしようなど、バランスの問題もあるかと思いますので、各団体に細かくお聞きして整理したいと。  
今の話からすると、個別の団体で独自に表彰しているものも表彰しているからこれを除くということではなく、それはそれ、これはこれでよろしいかと思っております。  
あとは、役職と実際の指導の状況が一致していないケースをどうするのかという点については、一定の方針を定めて、推薦頂くときに各団体の方々に精査していただいて、というのが現実的なのかなとお伺いしていただけたところでございます。

永富会長 現場に立つ人、組織を運営されたりする立場の方もいらっしゃると思いますので、それぞれの決め方、精査ができるようにした方がいいと思います。

それでは仙台市スポーツ賞功労賞運用見直しについて、次回たたき台を作っていただいて意見をすることによろしいでしょうか？

委員一同 異議なし。

永富会長 それでは、議題としては以上となり、議事終了いたしたいと思います。事務局に進行をお返しいたします。

事務局 ありがとうございました。  
それでは、本日ご審議いただきました内容に基づきまして、本日ご提案させていただきました功労賞の見直しにつきましては、事務局においてその制度設計の案を作成いたしまして、次回年末予定してございます第 2 回の審議会におきまして、改めてご議論いただくような形にいたしたいと考えております。なお、その場合には、事前にたたき台を皆様にお

送りさせていただいてご高覧いただいたうえで、場合によっては事前にご意見などをいただきながら、反映できるものについては適宜反映いたした形で第2回の審議会を進めていければと考えてございます。

次回は毎年12月に実施しておりますので、そのような形で考えておりますけれども、その際には本日お諮りしました功労賞の見直しと後は本年、毎年実施しております仙台市スポーツ賞の選考、こちら2件をお諮りしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。日程につきましては、今のところ12月26日というのを一つ仮案ということで予定しておりますけれども、詳細また改めて皆様にご案内させていただきたいと存じます。

本日は予定の時間よりも皆様のご協力を頂きまして相当早い時間で終わることができました。どうもありがとうございます。引き続きどうぞよろしくおねがいたします。今日はありがとうございました。

#### (5) 閉 会